

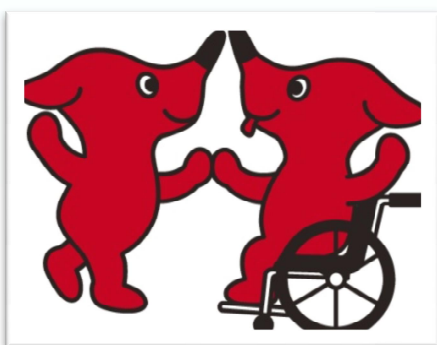
しょうがい ひと さべつ 障害のある人への差別をなくそう

音声コード

しょうがい りゆう
障害を理由とする
さべつ かいしょう すいしん
差別の解消の推進に
かん ほうりつ しょうがいしゃ
関する法律（障害者
さべつ かいしょうほう
差別解消法）がで
きました

しょうがいしゃ さべつ かいしょうほう しょうがい
障害者差別解消法は、障害の
ある人もない人も障害によって分
け隔てられることなく、お互いに
じんかく こせい そんちょう あ とも い
人格や個性を尊重し合い、共に生
きる社会をつくることを目指して
つく
作られました。

この法律では、国の行政機関や
ちほう こうきょうだんたいとうおよ じんかん じ ぎょうしゃ
地方公共団体等及び民間事業者
による「しょうがい りゆう さべつ
障害を理由とする差別」
をきんし
禁止しています。



しょうがいしゃ さべつ かいしょうほう さきだ
障害者差別解消法に先立ち、

ちばけん しょうがい ひと
千葉県には「障害のある人もない

ひと とも く ちばけん
人も共に暮らしやすい千葉県づく

り じょうれい い か しょうがいしゃ じょうれい
り条例（以下「障害者条例」と

いう）」があります。このしょうがいしゃ

じょうれい しょうがいしゃ さべつ かいしょうほう つう
条例と障害者差別解消法を通じ

て、しょうがい ひと たい さまざま
で、障害のある人に対する様々な

さべつ かいしょう すす だれ く
差別の解消を進め、誰もが暮らし

やすい ちばけん すす
千葉県づくりを進めていき

ましよう。

ちばけん しょうがい
千葉県には障害の
ひと な ひと とも
ある人も無い人も共に
く ちばけん
暮らしやすい千葉県づ
じょうれい
くり条例があります

ちばけん
千葉県

音声コード

しょうがい りゆう さべつ かいしょう 障害を理由とする差別の解消の すいしん かん ほうりつ 推進に関する法律

しょうがいしゃ さべつ かいしょうほう もくてき 障害者差別解消法の目的

この法律は、「障害のある人に対する不当な差別的取扱い」と「合理的配慮の不提供」を差別と規定しています。国や市町村などの行政機関や、会社やお店などの民間事業者などに差別の解消に向けた取組を求めることで、障害のある人もない人も障害によって分け隔てられることなく、お互いに人格や個性を尊重し合い、共に生きる社会をつくることを目指しています。

しょうがいしゃ さべつ かいしょうほう たいしょう 障害者差別解消法における対象

障害のある人・・・障害のある人で社会的障壁により継続的に日常生活又は社会生活に相当な制限を受ける状態にあるものです。
障害者手帳を持っていなくても対象になります。

事業者・・・対象となる事業者は、個人の事業主や非営利事業を行う事業者も対象となります。たとえば、対価を得ない無報酬の事業を行う事業者、非営利事業を行う社会福祉法人や特定非営利活動法人も含まれます。



社会的障壁・・・障害のある人にとって、日常生活や社会生活を送るうえで

障壁（バリア）となるようなものを指します。

- ① 社会における事物（通行、利用しにくい施設、整備など）
- ② 制度（利用しにくい制度など）
- ③ 慣行（障害のある人の存在を意識していない慣習・文化など）
- ④ 観念（障害のある人への偏見など）



対象分野・・・日常生活及び社会生活全般にわたる広い分野が対象となります。
ただし、雇用分野については障害者雇用促進法によります。





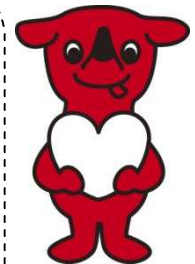
しょうがい りゆう さべつ
障 害を理由とする差別ってなに？

ふとう さべつてきとりあつか
不当な差別的取扱い

せいとう りゆう しょうがい りゆう ざい かくしゅきかい ていきょう
正当な理由なく、障 害を理由として、財・サービスや各種機会の提 供を
きよひ せいげん しょうけん つ
拒否したり、制限したり、条 件を付けること。

ごうりてきはいりょ ふていきょう
合理的配慮の不提供

しょうがい ひと なん はいりょ もと い し ひょうめい
障 害のある人から何らかの配慮を求めるとい意思の表 明があ
った場合に、負担になりすぎない範囲で社会的障 壁を取り除くた
めに 提 供される必要かつ合理的な取組を 行 わないことで障 害
の ひと けんりりえき しんがい
のある人の権利利益が侵害されること。



まも
守らなければならないこと

	ふとう さべつてきとりあつか 不当な差別的取扱い	ごうりてきはいりょ 合理的配慮
くに ぎょうせいきかん 国の行 政機 関・ ちほうこうきょうだんたいとう 地方公 共 団 体等	きんし 禁止	ごうりてきはいりょ 合理的配慮を おこな 行 わなければなりません。
みんかんじぎょうしゃ 民間事 業 者 ※こじんじぎょうしゃ えぬびーおーとう ※個人事 業 者やNPO等の ひえいりじぎょうしゃ ふく 非営利事 業 者も含みます。	きんし 禁止	ごうりてきはいりょ おこな つと 合理的配慮を 行 うよう努 めなければなりません。

よくある質問

※みんかんじぎょうしゃ ごうりてきはいりょ どりよくぎむ
※民間事 業 者による合理的配慮は努力義務です。

Q1 「合理的配慮」はどのようなものがありますか。

A1 ごうりてき はいりょ ばめん けーす こと てんけいてき
合理的な配慮はその場面ごと、ケースごとに異なりますが、典型的
なものとしては、しかくしょうがい ひと しりょう よ あ
視 覚 障 害のある人に資料の読み上げをしたり、
ちょうかくしょうがい ひと ひつだん
聴 覚 障 害のある人に筆談をするなどです。ちょっとしたことでも
それが合理的配慮になることがあります。

そうだんさき ふんそうかいけつ
相談先や紛争解決について

しょうがいしゃ さべつ かいしょう ほう ふうそう かいけつ あたら きかん せっち
障害者差別解消法では、紛争を解決するための新しい機関は設置せず、すでにある
行政などの相談機関の活用・充実により体制の整備を図ることにしています。

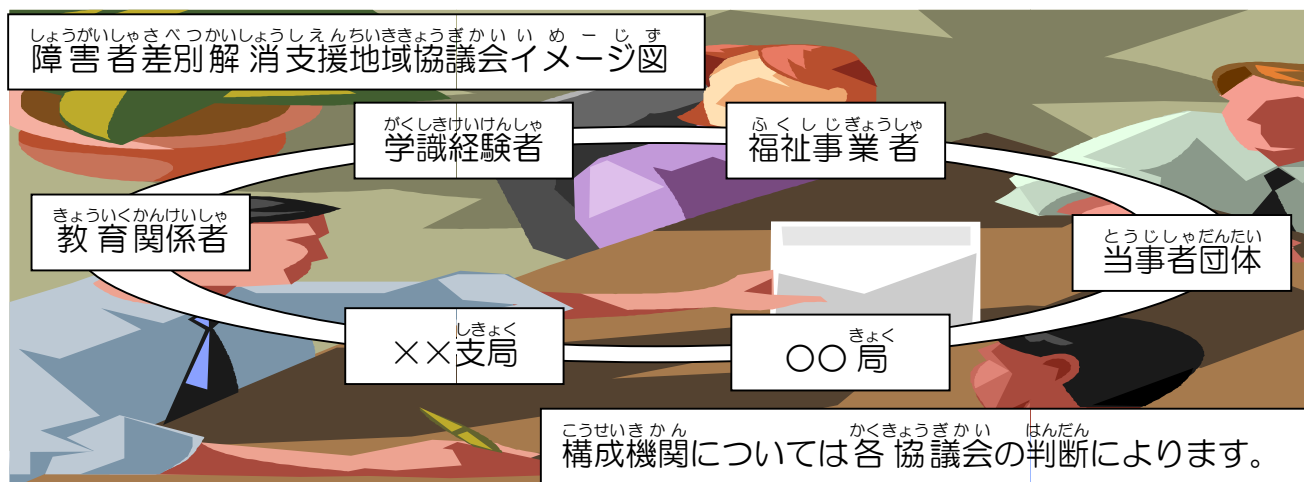
そのため、まずはお近くの相談窓口にご相談ください。

また、千葉県には障害者条例に基づく広域専門指導員や地域相談員がいます。必要に
応じて、指導員や相談員が適切な相談窓口をご案内します。

しょうがいしゃ さべつ かいしょう しえん ちいき きょうぎ かい
障害者差別解消支援地域協議会について

しょうがい りゆう さべつ かん そうだん およ しょうがい りゆう さべつ かいしょう
障害を理由とする差別に関する相談及び障害を理由とする差別を解消するための
取組を効果的かつ円滑に行うため、関係機関により構成される障害者差別解消支援
地域協議会を組織することができるとされています。

身近な地域において、地域協議会が組織され、関係する機関などのネットワークが構成
されることによって、地域の実情に応じた差別解消のための主体的な取組を行うこと
ができます。



よくある質問

Q2 日常生活の中で個人的に障害のある人と接するときも法律の対象になるのですか。

A2 いいえ、この対象となりません。

この法律では、一般の人が個人的な関係で障害のある人と接する場合や、
個人の思想、言論といったものは対象としていません。



しょうがい ひと ひと とも 障害のある人もない人も共に く ちばけん じょうれい 暮らしやすい千葉県づくり条例

音声コード

- 私たちは、怪我や病気で体が不自由になると、少しの段差でも大きなバリアと感じることがあります。また、誰もが、加齢で体の機能が低下していくことを考えれば、障害のある人にとって暮らしやすい社会づくりは、すべての人々の課題でもあります。
- この条例は、行政や事業主、団体、個人など、様々な立場の県民が力を合わせ、障害のある人に対する誤解や偏見等による不利益な取扱いをなくすとともに、障害のある人の生活や社会参加を妨げている建物や施設、制度などの障壁（バリア）を解消することで、誰もが暮らしやすい社会づくりを進めるために制定された条例です。
- 障害のある人に対する差別の多くは、障害のある人への理解が不十分なことから生じています。また、差別は、それと気づかずに行われることも多く、様々な立場の県民がお互いに理解を深め、協力し合い、差別をなくす取り組みを進めることが重要です。
- この条例では、県民共通の目標としてなくすべき「差別」を具体的に定めるとともに、差別の解消に向けた3つの仕組みを定めています。



誰もが暮らしやすい地域社会



さべつ もんだい
差別の問題について、地
いきそうだんいん こういきせんもん しどういん
域相談員、広域専門指導員、
けん いいかい
県の委員会が、第三者的
たちば あいだ はい かいけつ はか
立場で間に入り、解決を図
ります。

さまざま かんけいしゃ さんか
様々な関係者が参加する
「推進会議」を設置し、差別
はいけい せいで しゅうかんとう
の背景にある制度や習慣等
について議論し、見直しを進
めます。

しょうがい ひと やさ
障害のある人に優しい
とりく じっせん しょうがい
取組みを実践し、障害のあ
る人への理解を広げようと
がんば かに おうえん
頑張っている方を応援しま
す。

けんみんきょうつう もくひょう 県民共通の目標(なくすべき「差別」)

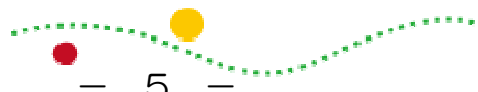
- 1 しょうがい ひと しょうがい りゆう ほか ひと こと ふりえき と あつか
障害のある人に障害を理由として他の人と異なる不利益な取扱いをしないこと
- 2 しょうがい ひと しゃかいさんか はば しょうへき ばりあ かいしょう
障害のある人の社会参加を阻む障壁（バリア）を解消すること

しょうがい ひと たい さべつ めいかくか
障害のある人に対する「差別」の明確化

音声コード

しょうがい ひと
障害のある人に
たい さべつ
対する差別とは①しょうがい りゆう ふりえき と あつか
障 害を理由とする不利益な取 扱い(参考) しょうがい りゆう ふりえき とりあつか
障害を理由とする不利益な取扱いしょうれいだい じょうだい こう
(条 例第2 条第2項)

ふくし サービス	<p>1 福祉サービスの利用に関する適切な相談及び支援が行われることなく、本人の意に反して、入所施設における生活を強いること。</p> <p>2 合理的な理由なく、福祉サービスの提供を拒否し、若しくは制限し、又はこれに条件を課し、その他不利益な取扱いをすること。</p>
い りょう 医 療	<p>1 合理的な理由なく、医療の提供を拒否し、若しくは制限し、又はこれに条件を課し、その他不利益な取扱いをすること。</p> <p>2 法令に特別の定めがある場合を除き、障害を理由として、本人が希望しない長期間の入院その他の医療を受けることを強い、又は隔離すること。</p>
しょうひんおよ 商品及び サービスの提供	合理的な理由なく、障害を理由として、商品又はサービスの提供を拒否し、若しくは制限し、又はこれに条件を課し、その他不利益な取扱いをすること。
ろうどうしゃ こよう 労働者の雇用	本人が業務の本質的部分を遂行することが不可能である場合その他の合理的な理由なく、労働者に対し不利益な取扱いをすること。
きょう いく 教 育	<p>1 本人に必要なと認められる適切な指導及び支援を受ける機会を与えないこと。</p> <p>2 本人若しくはその保護者の意見を聴かないで、又は必要な説明を行わないで、入学する学校を決定すること。</p>
だてものとうおよ 建物等及び 公共交通 機関	<p>1 合理的な理由なく、建物その他の施設の利用を拒否し、若しくは制限し、又はこれに条件を課し、その他不利益な取扱いをすること。</p> <p>2 合理的な理由なく、公共交通機関の利用を拒否し、若しくは制限し、又はこれに条件を課し、その他不利益な取扱いをすること。</p>
ふどうさん とりひき 不動産の取引	障害のある人又は障害のある人と同居する者に対して、不動産の売却、賃貸、転貸又は賃借権の譲渡を拒否し、若しくは制限し、又はこれに条件を課し、その他不利益な取扱いをすること。
じょうほう ていきよう 情 報の提供 等	障害のある人に対して情報の提供をするときや、障害のある人が情報の提供をするときに、これを拒否し、若しくは制限し、又はこれに条件を課し、その他不利益な取扱いをすること。



障害のある人もない人も共に暮らしやすい千葉県づくり条例

音声コード

障害のある人に 対する差別とは②

合理的な配慮に基づく措置が行われないこと

(参考) 合理的な配慮に基づく措置の例

福祉サービス	聴覚障害のある人が福祉サービスの内容などを理解しやすいように、筆談を交えて説明すること。
医療	電光掲示板で順番を知らせている医療機関において、視覚障害者に直接声をかけて順番がきたことを知らせること。
商品及びサービスの提供	車イスを利用するお客様のために、商品陳列方法を工夫したり、店員が陳列棚の高い位置にある商品を渡すこと。
労働者の雇用	車イスを利用する従業員のために車イスが入る机を用意するなど、障害特性に合った職場環境づくりをすること。
教育	障害特性に合った教材を用意すること。
建物等及び公共交通機関	移動経路で高低差のある場所にスロープや手すりを整備すること。
不動産の取引	重要事項の説明に際し、聴覚障害者のために筆記等による丁寧な説明を行うこと。
情報の提供等	知的障害のある人が理解しやすいように、資料に写真やふりがなを入れること。

よくある質問

Q3 障害を理由として、不利益な取扱いをしたり、合理的な配慮に基づく措置をしないと、どんな場合でも「差別」となるのですか？

A3 いいえ、条例や法律が適用されない場合もあります。

障害のある人のニーズや必要な支援は一人ひとり異なり、相手方の事情もさまざまです。そのため、形式的に「不利益な取扱い」等に該当する行為をすべて「差別」と位置づけるではなく、「不利益な取扱い」を行わないことや「合理的な配慮に基づく措置」を行うことが、社会通念に照らして過重な負担になる場合や、正当な理由がある場合は、適用しません。どの程度が過重なのかは、個別のケースに応じて、話し合いの中で判断されます。

Q4 「差別」をした場合、罰則や罰金があるのですか？

A4 いいえ、ありません。

条例では、なくすべき差別を県民の目標として掲げた上で、話し合いを通じ、お互いに理解し協力しあい、すべての人が暮らしやすい社会をつくるという視点で、できることから一歩ずつ、問題解決を図っていくこととしています。

音声コード

音 声
コード

しょうがい ひと ひと とも く
障 害 のある人もない人も共に暮らしやすい
ちばけん じょうれいそうだんまどぐち
千葉県づくり 条例相談窓口



そうだんさき けんいき 相談先（圏域）	そうだんせんようでんわばんごう 相談専用電話番号	ふあつくす FAX
ちゅうおうしょうがいしゃそうだん せ ん た ー （ちば） 中央障害者相談センター（千葉）	043-292-1317	043-291-8488
ちゅうおうしょうがいしゃそうだん せ ん た ー ふなばしぶんしつ ふなばし 中央障害者相談センター船橋分室（船橋）	047-424-0167	043-291-8488
ならしのけんこうふくし せ ん た ー （ならしの） 習志野健康福祉センター（習志野）	047-474-1389	047-475-5122
いちかわけんこうふくし せ ん た ー （いちかわ） 市川健康福祉センター（市川）	047-377-8854	047-379-6623
まつどけんこうふくし せ ん た ー （まつど） 松戸健康福祉センター（松戸）	047-361-2346	047-367-7554
ひがしかつしかしょうがいしゃそうだん せ ん た ー （かしわ） 東葛飾障害者相談センター（柏）	04-7179-1088	04-7165-2423
の だ けんこうふくし せ ん た ー （の だ） 野田健康福祉センター（野田）	04-7123-4418	04-7124-2878
いんばけんこうふくし せ ん た ー （いんば） 印旛健康福祉センター（印旛）	043-486-5991	043-486-2777
かとりけんこうふくし せ ん た ー （かとり） 香取健康福祉センター（香取）	0478-52-3613	0478-54-5407
かいそうけんこうふくし せ ん た ー （かいそう） 海匠健康福祉センター（海匠）	0479-22-0739	0479-24-9682
さんぶけんこうふくし せ ん た ー （さんぶ） 山武健康福祉センター（山武）	0475-54-3556	0475-52-0274
ちようせいけんこうふくし せ ん た ー （ちようせい） 長生健康福祉センター（長生）	0475-26-1510	0475-24-3419
いすみけんこうふくし せ ん た ー （いすみ） 夷隅健康福祉センター（夷隅）	0470-73-4630	0470-73-0904
あわけんこうふくし せ ん た ー （あわ） 安房健康福祉センター（安房）	0470-23-6900	0470-23-6694
きみづけんこうふくし せ ん た ー （きみづ） 君津健康福祉センター（君津）	0438-23-6603	0438-25-4587
いちばらけんこうふくし せ ん た ー （いちばら） 市原健康福祉センター（市原）	0436-24-2387	0436-22-8068

※我孫子市の方からの条例相談は、東葛飾障害者相談センター（柏圏域）が担当します。

相談電話受付時間：月曜～金曜の9時～17時まで（祝日、年末年始除く）

※電話でのご相談が困難な方はFAXまたは電子メールで御相談ください。

メールアドレス sjourei@pref.chiba.lg.jp

音 声
コード